

名古屋地方気象台および 国土交通省からの情報提供

令和7年6月20日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

○2024年(令和6年)の愛知県の天候・・・・・・・・・・・・・・・・	1
○令和8年出水期からの防災気象情報の改善について(概要)・・・	10
○水害リスクラインについて・・・・・・・・・・・・・・・・	16
○ワンコイン浸水センサ実証実験について・・・・・・・・	18
○河川監視カメラ～セキュリティ対策～・・・・・・・・	32
○水防協力団体制度について・・・・・・・・	34

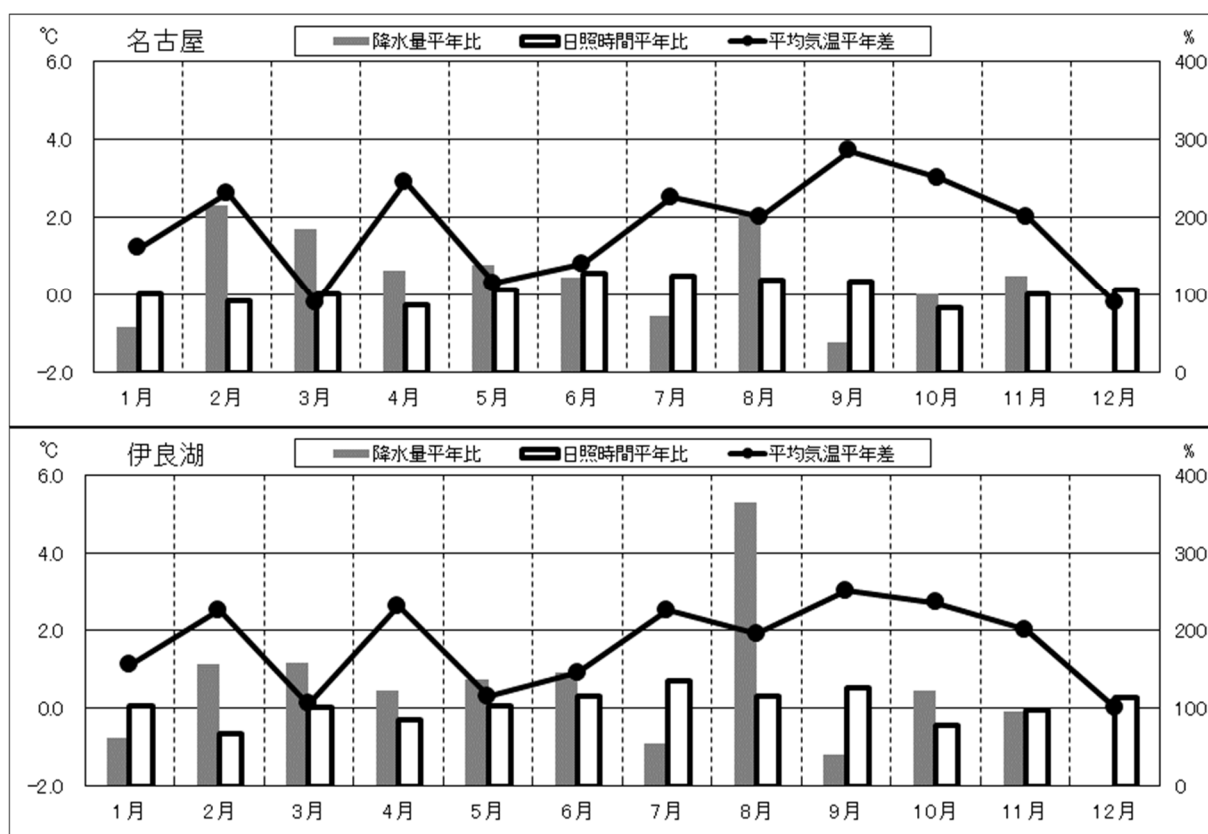
2024年(令和6年)の愛知県の天候

2024年（令和6年）の愛知県の天候

令和7年1月21日
名古屋地方気象台

【天候の特徴】

- 年平均気温**は、名古屋が17.9℃、伊良湖が18.0℃で、ともにかなり高くなり、年平均気温の高い方から観測史上1位の値を更新しました。月平均気温は、名古屋は2月、4月、及び7月から11月に、伊良湖は1月、2月、4月、及び6月から11月に、暖かい空気に覆われやすかったため、かなり高くなりました。
- 年降水量**は、名古屋が1773.0mmで多く、伊良湖が1969.5mmでかなり多くなりました。月降水量は、名古屋は2月と3月に、伊良湖は3月、6月、及び8月に、低気圧や前線、及び台風の影響を受けてかなり多くなりました。また、名古屋は12月、伊良湖は9月と12月に晴れの日が多かったため月降水量がかなり少なくなりました。
- 年間日照時間**は、名古屋が2242.5h、伊良湖が2298.0hで、ともに多くなりました。月間日照時間は、名古屋は6月、伊良湖は7月と9月に、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、かなり多くなりました。



名古屋、伊良湖の月平均気温・月降水量・月間日照時間の平年差・比の推移

○東海地方の**梅雨入り**は6月21日ごろでかなり遅く（平年：6月6日ごろ）、**梅雨明け**は7月18日ごろで平年並（平年：7月19日ごろ）となりました。

○**台風**の発生数は26個（平年の発生数：25.1個）、上陸した台風は2個（平年の上陸数：3.0個）、東海地方に接近した台風は3個（平年の接近数：3.5個）でした。

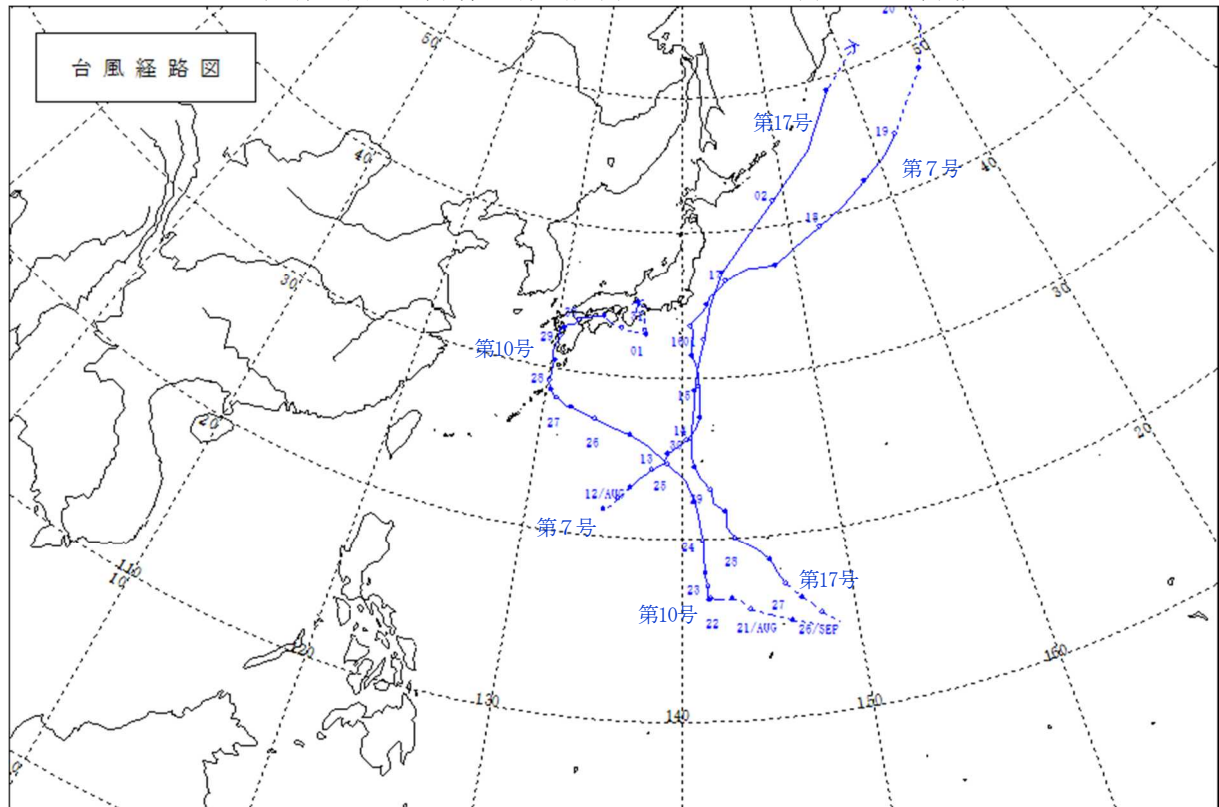
【2024年（令和6年）の台風発生数・上陸数及び東海地方への接近数】

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
今年	発生数	0	0	0	0	2	0	2	6	8	3	4	1	26
	上陸数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
昨年	発生数	0	0	0	1	1	1	3	6	2	2	0	1	17
	上陸数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
平年値	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
	上陸数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	-	-	3.0
	東海接近数	-	-	-	-	0.1	0.2	0.6	0.8	1.2	0.7	-	-	3.5

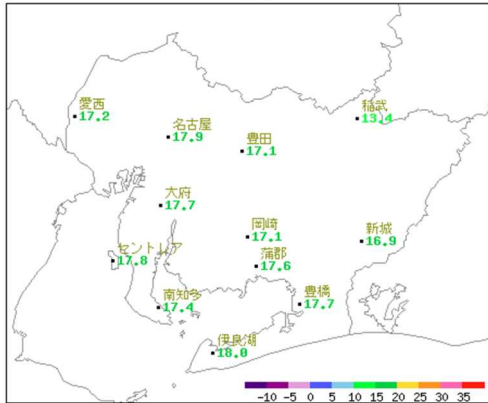
※東海地方に接近した台風：中心が東海地方のいずれかの気象官署及び特別地域気象観測所（富士山を含めた15地点）から300km以内に入った台風

接近は2か月にまたがる場合があります、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。
速報値であり、後日値が変わる可能性があります。

東海地方に接近した台風（第7号、第10号、第17号）の経路図
（実線は台風の期間、点線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間）

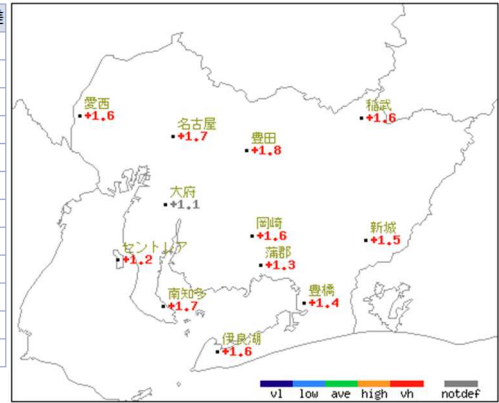


アメダス年別値 2024年 平均気温(℃)



2024年の年平均気温分布図 (℃)

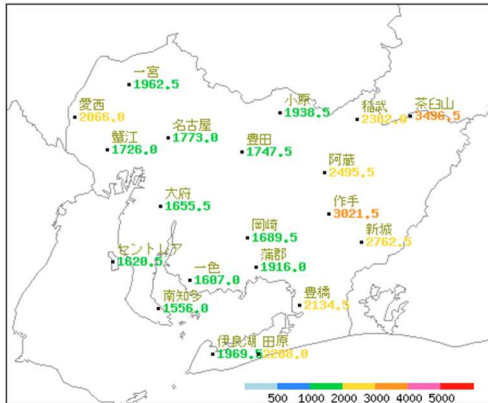
アメダス年別値 2024年 平均気温平年差(色-階級・値-℃)



2024年の年平均気温平年差分布図 (℃)

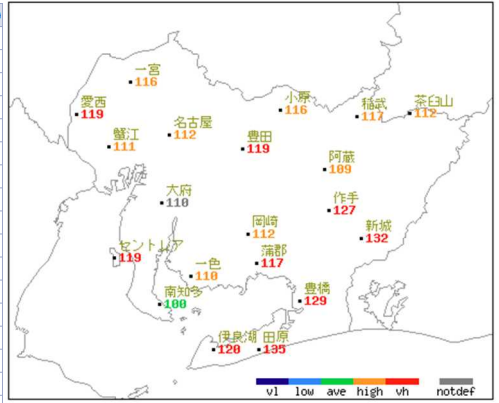
記号 統計値区分
 D 正常値
 -- 現象なし
 D) 準正常値
 D) 資料不足値
 X 欠測
 // 平年値なし
 D@ [参考]平年値

アメダス年別値 2024年 降水量(mm)



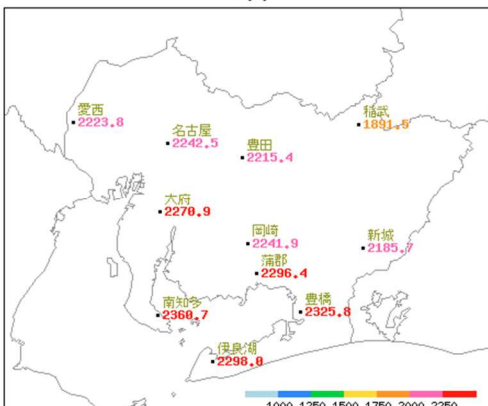
2024年の年降水量分布図 (mm)

アメダス年別値 2024年 降水量平年比(色-階級・値-%)



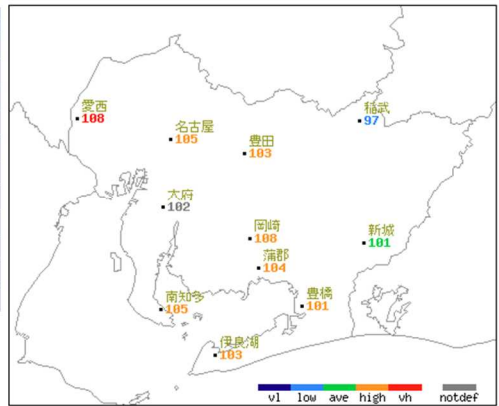
2024年の年降水量平年比分布図 (%)

アメダス年別値 2024年 日照時間(h)



2024年の年間日照時間分布図 (h)

アメダス年別値 2024年 日照時間平年比(色-階級・値-%)



2024年の年間日照時間平年比分布図 (%)

※ 愛西、稲武、豊田、大府、岡崎、新城、蒲郡、南知多及び豊橋において、日照時間の値は推計気象分布(日照時間)の推計値、平年値は推計値の平年値を使用しています。

【季節別の概況】

○冬（前年12月～2月）

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、晴れの日が多くなりました。1月下旬には、一時的に強い寒気が流れ込み、大雪となった日もありましたが、冬型の気圧配置は長続きせず、2月を中心に暖かい空気が流れ込んだため、2月の月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は多く、日照時間は平年並となりました。

○春（3月～5月）

天気は数日の周期で変わりましたが、前線や低気圧の影響で3月下旬と5月下旬は大雨となった日もありました。また、4月は暖かい空気に覆われやすかったため、4月の月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温は高く、降水量はかなり多く、日照時間は平年並となりました。

○夏（6月～8月）

6月中旬までと7月下旬から8月中旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。6月下旬から7月中旬は梅雨前線や低気圧の影響で、8月下旬は台風第10号の影響で曇りや雨の日が多く大雨となった日もありました。強い日射の影響を受け、暖かい空気に覆われやすかったため、7月と8月の月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は多く、日照時間はかなり多くなりました。

○秋（9月～11月）

9月中旬までと11月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、9月下旬から10月は低気圧や前線、及び湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。暖かい空気に覆われやすく、11月に寒気の影響を受けにくかったため、秋を通して月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間は平年並となりました。

○12月

前半は、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多く、後半は、寒気や気圧の谷の影響で曇りの日が多くなりました。

名古屋の月平均気温は平年並、月降水量はかなり少なく、月間日照時間は多くなりました。

【2024 年（令和 6 年）の冬日・真夏日などの日数】

日最低気温が0℃未満の冬日の日数は、名古屋、伊良湖ともに平年値及び前年（2023 年）の値を下回りました。

日最低気温が25℃以上の日数と日最高気温が35℃以上の猛暑日の日数は、名古屋、伊良湖ともに平年値及び前年の値を上回り、特に猛暑日は平年値の3倍以上の日数となりました。日最高気温が30℃以上の真夏日の日数は、名古屋では平年値及び前年の値を上回り、伊良湖では平年値を上回りました。

なお、名古屋、伊良湖ともに、日最低気温が25℃以上の日数、猛暑日の日数は、観測史上1位の値を更新しました。また、名古屋では、真夏日の日数についても観測史上1位の値を更新しました。

	日最低気温が0℃未満（冬日）の日数			日最低気温が25℃以上の日数			日最高気温が30℃以上（真夏日）の日数			日最高気温が35℃以上（猛暑日）の日数		
	2024年	平年	2023年	2024年	平年	2023年	2024年	平年	2023年	2024年	平年	2023年
名古屋	9	23.8	17	56	25.6	49	97	69.7	93	47	15.0	32
伊良湖	1	5.9	5	55	21.1	42	81	51.0	84	26	4.0	5

【2024年（令和6年）の月別平均気温（℃）・降水量(mm)・日照時間（h）】

名古屋		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
平均気温 (℃)	本年	6.0	8.1	9.0	17.5	19.7	23.8	29.4	30.2	28.2	21.6	14.6	7.0	17.9
	平年値	4.8	5.5	9.2	14.6	19.4	23.0	26.9	28.2	24.5	18.6	12.6	7.2	16.2
	平年差	+1.2	+2.6	-0.2	+2.9	+0.3	+0.8	+2.5	+2.0	+3.7	+3.0	+2.0	-0.2	+1.7
	階級	高い	かなり高い	平年並	かなり高い	平年並	高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並	かなり高い
降水量 (mm)	本年	29.5	138.5	213.5	166.5	206.5	229.0	154.0	282.0	89.0	165.5	98.0	1.0	1773.0
	平年値	50.8	64.7	116.2	127.5	150.3	186.5	211.4	139.5	231.6	164.7	79.1	56.6	1578.9
	平年比	58%	214%	184%	131%	137%	123%	73%	202%	38%	100%	124%	2%	112%
	階級	平年並	かなり多い	かなり多い	多い	多い	多い	平年並	多い	少ない	平年並	多い	かなり少ない	多い
日照時間 (h)	本年	176.4	160.3	201.2	172.5	218.2	193.6	205.0	239.1	187.7	140.7	167.0	180.8	2242.5
	平年値	174.5	175.5	199.7	200.2	205.5	151.8	166.0	201.3	159.6	168.9	167.1	170.3	2141.0
	平年比	101%	91%	101%	86%	106%	128%	123%	119%	118%	83%	100%	106%	105%
	階級	平年並	少ない	平年並	少ない	平年並	かなり多い	多い	多い	多い	少ない	平年並	多い	多い
伊良湖		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
平均気温 (℃)	本年	7.1	8.8	9.5	16.9	19.1	23.1	28.6	29.3	27.4	21.8	15.6	8.6	18.0
	平年値	6.0	6.3	9.4	14.3	18.8	22.2	26.1	27.4	24.4	19.1	13.6	8.6	16.4
	平年差	+1.1	+2.5	+0.1	+2.6	+0.3	+0.9	+2.5	+1.9	+3.0	+2.7	+2.0	+0.0	+1.6
	階級	かなり高い	かなり高い	平年並	かなり高い	平年並	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並	かなり高い
降水量 (mm)	本年	38.0	106.5	191.0	170.5	222.0	261.0	87.5	421.0	98.5	272.0	101.0	0.5	1969.5
	平年値	61.9	68.3	121.5	138.8	163.5	179.6	159.6	115.5	240.6	223.9	106.0	63.1	1642.1
	平年比	61%	156%	157%	123%	136%	145%	55%	365%	41%	121%	95%	1%	120%
	階級	少ない	多い	かなり多い	多い	多い	かなり多い	少ない	かなり多い	かなり少ない	多い	平年並	かなり少ない	かなり多い
日照時間 (h)	本年	185.6	116.6	204.0	172.4	209.9	180.2	260.1	268.5	212.3	126.5	162.6	199.3	2298.0
	平年値	180.1	176.1	201.3	201.3	205.1	155.5	194.4	234.2	169.0	164.1	166.0	174.9	2222.0
	平年比	103%	66%	101%	86%	102%	116%	134%	115%	126%	77%	98%	114%	103%
	階級	平年並	かなり少ない	平年並	少ない	平年並	多い	かなり多い	多い	かなり多い	かなり少ない	平年並	多い	多い

(注)

1. 平年値は1991～2020年の資料から求めました。
2. 「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020 年における30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられるように決めています。また、値が1991～2020 年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。
3. 値の横に ）や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示します。 ）付きの値（準正常値）は通常のもと同様に扱うことができますが、]付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして使用してください。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」としました。
4. この資料は速報なので、後日値が変わる可能性があります。

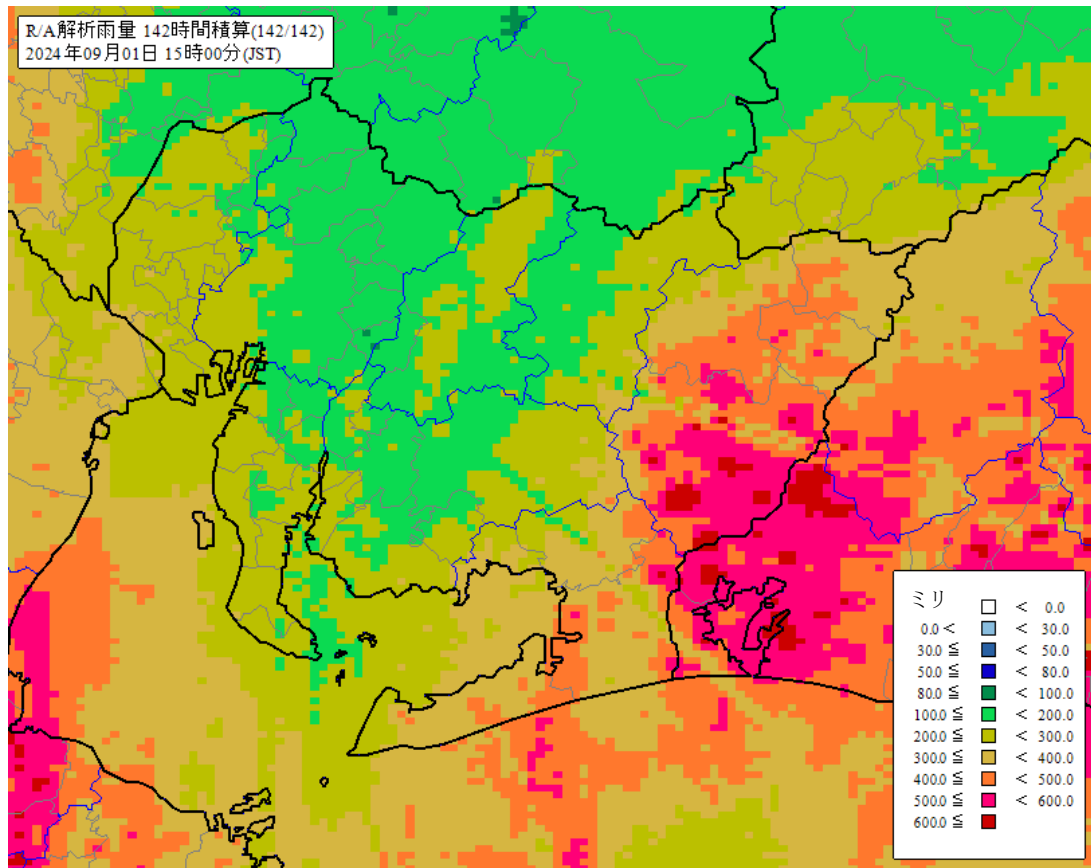
【トピックス】

台風第10号による大雨

8月22日にマリアナ諸島で発生した台風第10号は、24日にかけて発達しながら北へ進み、25日には進路を北西へ変えて進みました。台風は日本付近で動きが遅くなり、27日に非常に強い勢力となって奄美群島に接近した後、29日に鹿児島県薩摩川内市付近に上陸しました。上陸後は、勢力を弱めながらゆっくりとした速度で九州や四国を通じて東海道沖へ進み、8月30日に熱帯低気圧に変わりました。

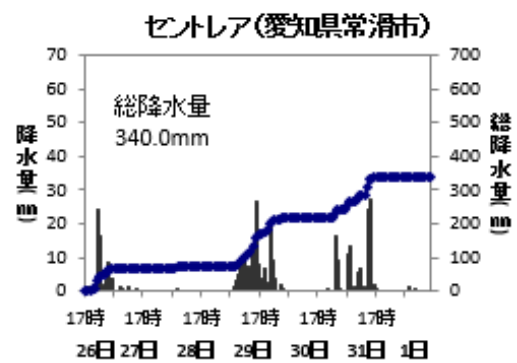
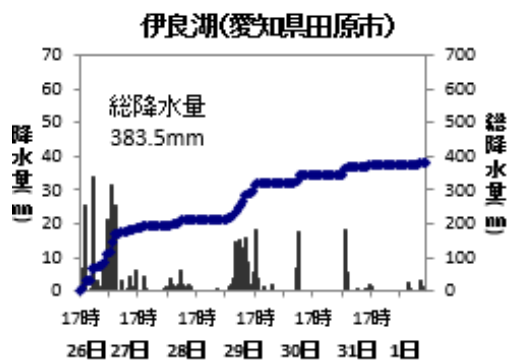
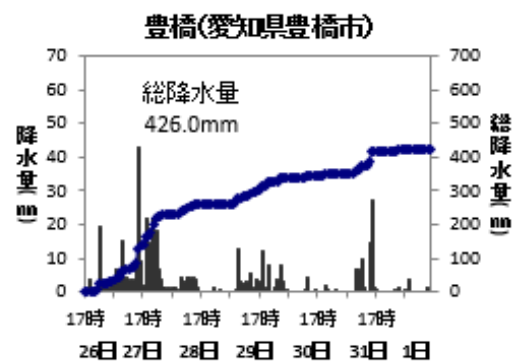
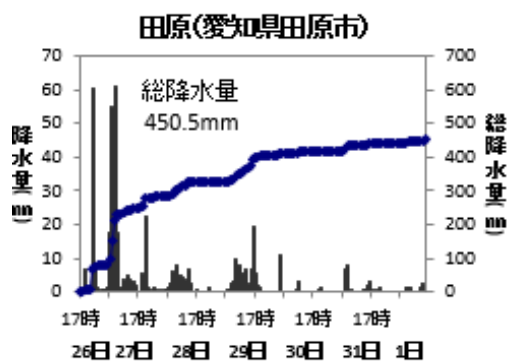
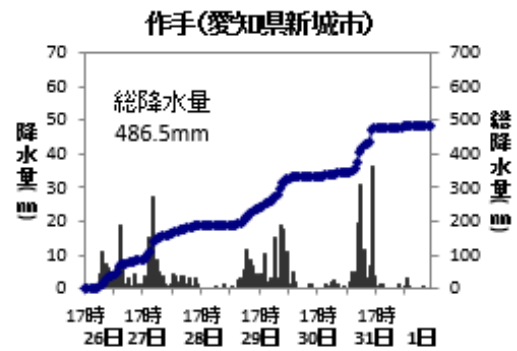
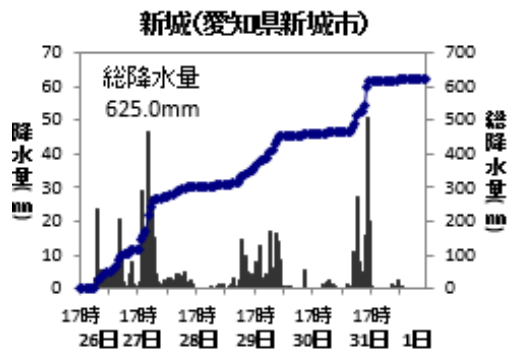
愛知県では、台風本体や周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、また、台風が接近する前には太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気も流れ込み、大気の非常に不安定な状態が長期間続き大雨となりました。このため、東三河北部では、降り始め（26日16時）から1日15時までの総降水量が多い所で600ミリを超える大雨となった所がありました。また、愛知県の取りまとめによると、土砂崩れで死者3名などの被害が発生しました。

○解析雨量（8月26日16時から9月1日15時までの積算値）



- ・解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量分布を解析したものです。
- ・この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合があります。

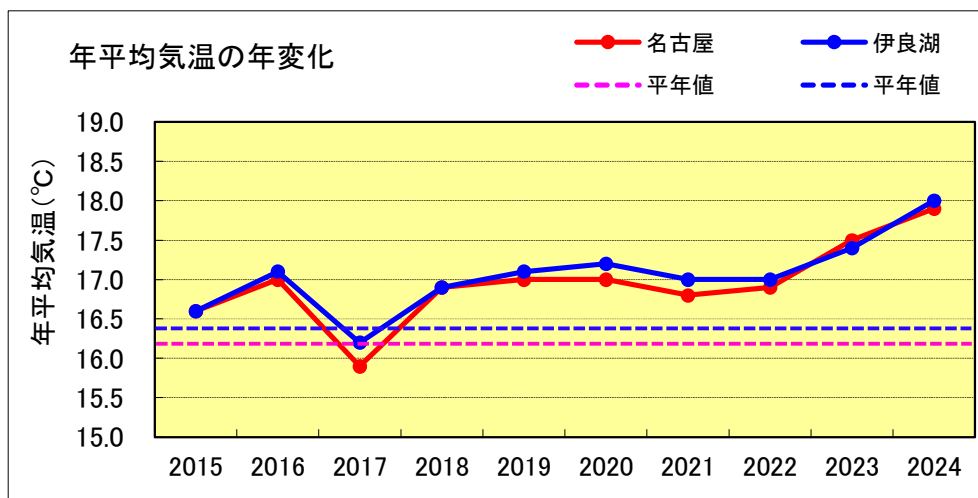
○主な観測所の降水量の推移（8月26日16時～9月1日15時）



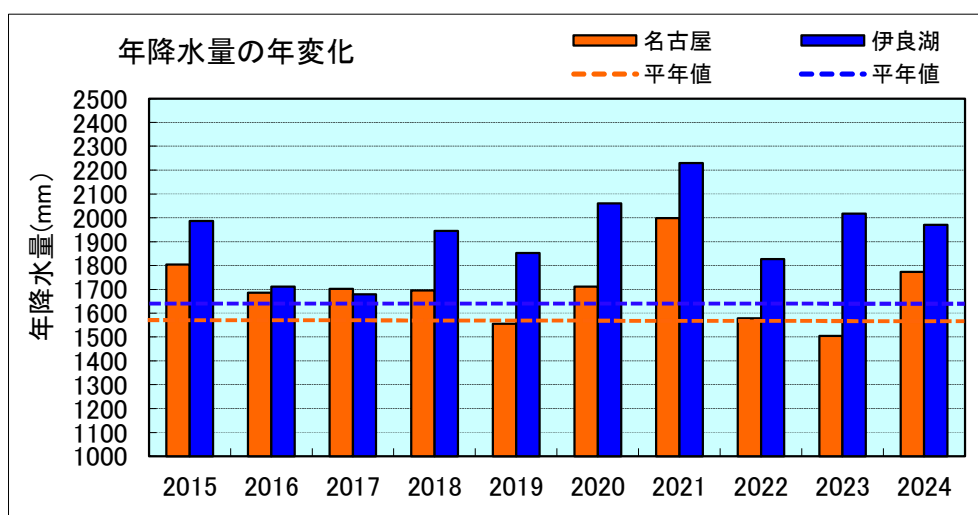
- ・愛知県内のアメダスのうち、総降水量の多かった上位6地点を示しています。
- ・グラフの横軸の1時での降水量は、1時時点での前1時間降水量を表しています。

[参考]

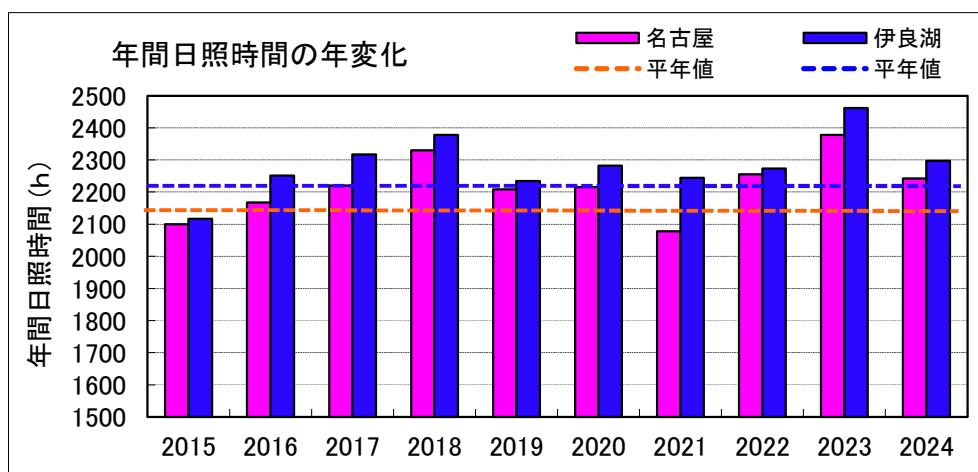
【年平均気温・年降水量・年間日照時間の年変化図（2015～2024年）】



過去10年間の名古屋、伊良湖の年平均気温



過去10年間の名古屋、伊良湖の年降水量



過去10年間の名古屋、伊良湖の年間日照時間

令和8年出水期からの 防災気象情報の改善について（概要）

令和7年 6月
水管理・国土保全局、気象庁

※説明内容は現時点での検討状況のため、
今後変わりうる点をご承知おき下さい。

- 「防災気象情報に関する検討会」の最終とりまとめ（令和6年6月）を踏まえた**新しい防災気象情報の運用を令和8年出水期から開始する予定**です。
- 新しい防災気象情報では、**住民の避難行動に対応した5段階の警戒レベルに整合させ、災害発生危険度の高まりに応じて各情報を発表**します。
- この方針のもとで、**情報名称の変更、警戒レベル4相当となる危険警報の新設、洪水関係の情報変更、気象防災速報の新設**など、現行の大雨警報・注意報などの気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わります。

警戒レベル			
警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報（避難情報等）
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保

主な防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル相当情報	防災気象情報			
	洪水等に関する情報			土砂災害
	指定河川 洪水予報 （河川毎）	洪水害 （市町村毎）	大雨浸水害 （市町村毎）	
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 （浸水害）		大雨特別警報 （土砂災害）

＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、避難指示等の発令を判断する

4 相当	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3 相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (浸水害)	大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
2 相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1 相当					

警戒レベルとの対応関係が整理されてはいるものの、次のような課題があってとても分かりにくい。

- 情報名称がバラバラで、どのレベルに相当する情報なのか非常にわかりづらい
- 警戒レベル4相当の情報がないものがある（洪水・大雨浸水）
- 特別警報と警報が同じ警戒レベル4になっている（高潮）
- 高潮注意報がレベル2とレベル3相当に分かれている（高潮）
- 同じ警報が異なる対象災害を兼ねている（大雨警報が土砂災害と浸水害を兼ねるなど）

新しい防災気象情報（R8出水期から運用開始予定）

- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 高波による浸水	住民が 取るべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	早期注意情報				災害への心構えを高める

新しい防災気象情報（R8出水期から運用開始予定）

- これまで、気象警報・注意報を補足する情報等として伝えてきた様々な気象情報を、「**気象防災速報**」と「**気象解説情報**」の大きく2つのカテゴリーに分類して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報

現状

記録的短時間大雨情報

顕著な大雨に関する気象情報

線状降水帯 2～3 時前予測
(R8運用開始予定)

顕著な大雪に関する気象情報

竜巻注意情報

今後（令和8年度出水期～）

気象防災速報（記録的短時間大雨）

気象防災速報（線状降水帯発生）

気象防災速報（線状降水帯予測）

気象防災速報（短時間大雪）

気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）

気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報

線状降水帯半日前予測

全般台風情報

全般/地方/府県気象情報

気象解説情報（線状降水帯予測）

気象解説情報（台風第○号）

気象解説情報（●●●）

※何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付す
※（ ）内のキーワードは現時点での想定

洪水等に関する情報の主な変更点

- 洪水に関する情報は、洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報とし、これを一般向けの警報扱いとする。これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行わない。
- 水位周知河川の水位の情報は、当面はこれまで通りの運用とする。（水位の実況情報に洪水危険度を付して情報発表することは当面は行わない。）
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨浸水に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけ。洪水予報河川以外の河川についても大雨浸水に関する情報の中で一緒に扱う。（水位周知河川も大雨浸水の情報の中で扱う）

洪水に関する情報				大雨浸水に関する情報	
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む洪水警報等		
河川数	429河川 (国〇〇、都道府県〇〇)	当面は、大雨浸水に関する情報で扱う	大雨浸水に関する情報で扱う	—	
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台			気象台	
発表単位	河川ごと			市町村ごと	
対象とする主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫	
発表指標	水位（実測・予測）			表面雨量指数・流域雨量指数 (解析・予測)	
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報		レベル5 大雨特別警報	
	4	レベル4 氾濫危険警報		レベル4 大雨危険警報	
	3	レベル3 氾濫警報		レベル3 大雨警報	
	2	レベル2 氾濫注意報		レベル2 大雨注意報	
	1	早期注意情報		早期注意情報	

※情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

水害リスクラインについて

水害リスクラインについて

今まで用いられていた土研モデルからRRIモデルにR7.4～順次移行。
⇒RRIモデルとなることで精度向上が見込める。

※庄内川水系においては、今年度は大規模出水による検証を実施。

■洪水予測モデルの新モデル（RRIモデル）構築

- 令和4年度：各事務所でモデルを構築
- 令和5、6年度：局にて全水系の精度向上を実施
- **令和7年度：システムの精度維持を実施**
⇒大規模出水に対する検証

【R6】(RRIモデルの開発、精度向上、システム構築)

- ①内部向けリスクライン: 未稼働
- ②管理者向けリスクライン: 土研分布モデル(6時間先)
- ③統一河川情報システム: 土研分布モデル(6時間先)
- ④洪水予警報作成システム: 土研分布モデル(6時間先)

【R7.4】(RRIモデル仮運用)

- ①内部向けリスクライン: **RRIモデル(36時間先)**
- ②管理者向けリスクライン: 土研分布モデル(36時間先)
- ③統一河川情報システム: 土研分布モデル(6時間先)
- ④洪水予警報作成システム: 土研分布モデル(6時間先)

※両システムの予測の比較(精度確認、異常値対応の検討)

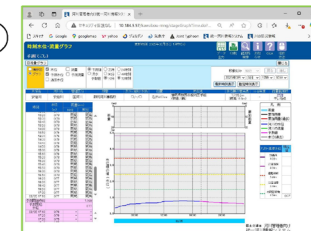
【R7.12頃】(RRIモデル本運用)

- ①内部向けリスクライン: **RRIモデル(36時間先)**
- ②管理者向けリスクライン: **RRIモデル(36時間先)**
- ③統一河川情報システム: **RRIモデル(6時間先)**
- ④洪水予警報作成システム: **RRIモデル(6時間先)**

①②



③



④



トピック

2024/11/14

浸水センサ表示システムの一般公開が始まりました

2025/4/1

ご興味のある方は水災害予報センターまでお気軽
にお問合せください



ワンコイン浸水センサ実証実験について

中部地方整備局

令和7年4月

問合せ先：水災害予報センター

(cbr-85onecoinsensor@gxb.mlit.go.jp)



中部管内の実証参加自治体(調整中含む)

中部地方整備局

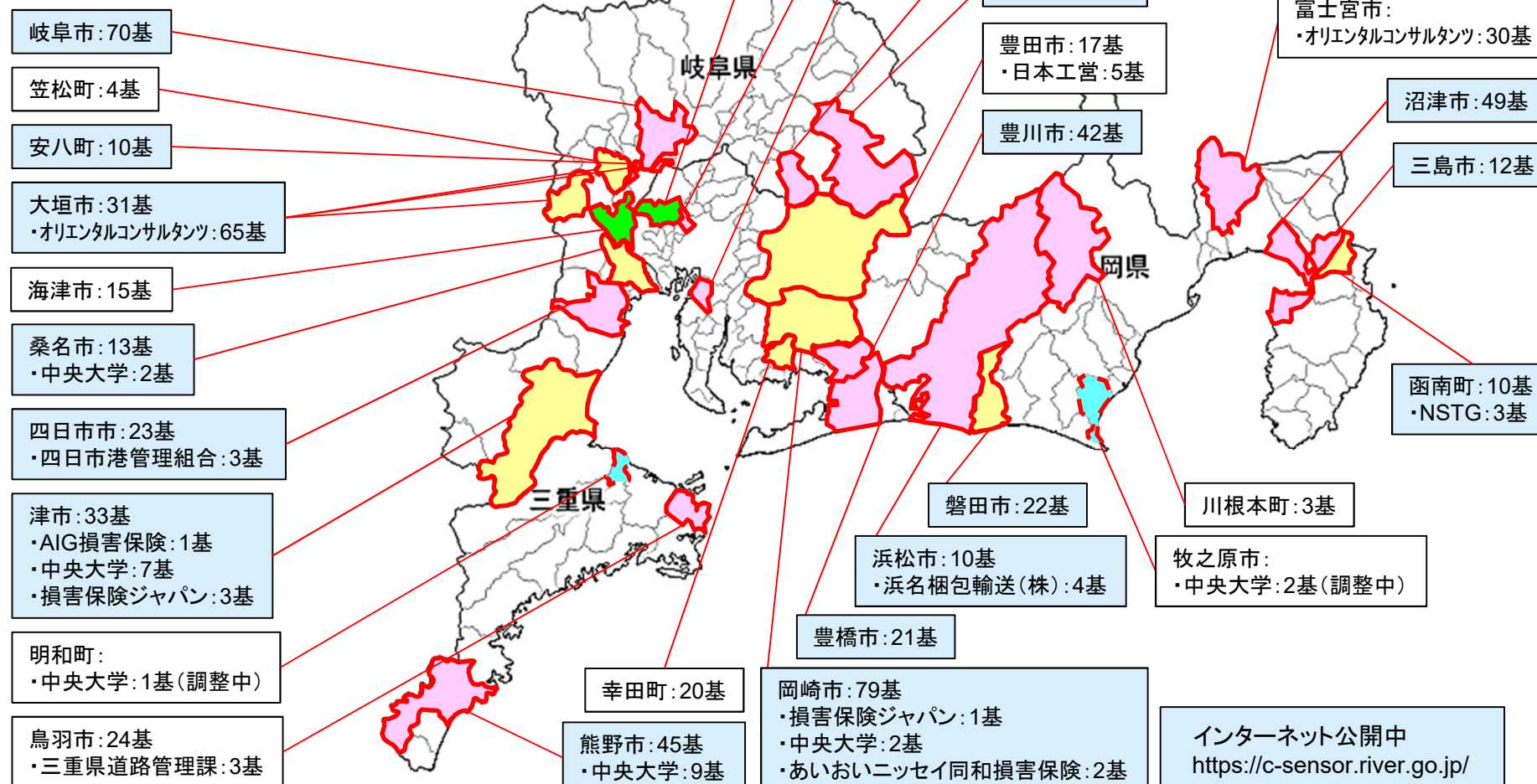
令和7年3月時点

自治体名:センサ設置予定数
(内:自販機搭載型センサ設置状況)

- : ~R5実証実験参加自治体
- : R6実証実験参加自治体
- : R7実証実験参加自治体
- : 自販機搭載型センサ調整中

センサ設置予定数 計 751基
 ~R5 : 220基
 R6追加 : 427基
 R7追加 : 104基

※数量は一部調整中を含む



ワンコイン浸水センサ ～官民連携による流域の浸水状況把握～

浸水被害の把握

ヘリによる調査

- リアルタイム性**
- ・悪天候時に調査不可
 - ・夜間調査不可



痕跡調査

- 機動力**
- ・広範囲の調査不可
 - ・多数の人材確保
 - ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



実証実験に用いている6種類の浸水センサ

- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】

- ・早期の人員配置
- ・道路冠水による通行止め
- ・避難所の開設 等
- ・ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- ・罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和3年度

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

令和4年度

- ・モデル地区となる自治体5市町において、国・自治体・民間企業等（10団体）にてセンサを設置し、実証実験を開始

令和5年度

- ・モデル地区となる自治体を58に拡大し、実証実験を継続

令和6年度（R6.7月時点）

- ・モデル地区となる自治体を163に拡大し、実証実験を継続
- ・必要に応じ、エリアを拡大

ワンコイン浸水センサ実証実験の公募

現在、実証実験への参加申込を受け付けております。詳細は国交省HPをご覧ください

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001278.html

参加者の分類	参加目的の事例	参加の形式	費用負担
① 市区町村	・管内の浸水状況把握 ・浸水情報の自治体防災関係システムへの連携 など	①－１ 国交省が用意するセンサを設置 (対象の複数社のセンサから希望するメーカー及び数量を選択する)	○センサの設置費 ○翌年度以降（令和８年４月～）のランニングコスト (センサ通信費・センサメーカーのクラウド運用経費) ○電気代など管理に係る費用
		①－２ 浸水センサを自ら設置せず、モデル地区の提供者となる	※以下の費用は国負担※ ○センサ及び関係機器費 ○初年度のランニングコスト (センサ通信費・センサメーカーのクラウド運用経費) ○データ共有サーバ等の表示システム運用に関する経費
② 企業・団体等 (都道府県含む)	・自社施設に対する浸水把握 ・自社開発センサの現地実証 ・浸水情報を活用した自治体向けシステム開発、保険商品開発など、企業による新たな商品開発 ・大学等による研究 ・都道府県管理河川周辺の浸水状況把握 など	②－１ 国交省が用意するセンサを設置 (対象の複数社のセンサから希望するメーカー及び数量を選択する) ↑	同上
		↓ ②－２ 自社で用意するセンサを設置	「データ共有サーバ等の表示システム運用に関する経費」 以外は全て参加者負担
③ 国土交通省 (河川関係事務所)	管内（直轄管理河川周辺）の浸水状況把握 など	国交省が用意するセンサを設置	－

※公募の対象は、①と②の参加者です

ワンコイン浸水センサ実証実験に関する資料

以下のWEBサイトでこれまでの実証実験の取組や資料等をご確認いただけます。

国土交通省HP(実証実験に関する資料)

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

The screenshot shows the MLIT website with the 'Wankoin Sena' experiment page. A red box highlights the 'New Information' section, which includes the date 2024.11.12 and the announcement that the system will be publicly available for real-time flood monitoring. Below this, there is a section titled '(参考) 浸水情報の活用イメージ' (Reference: Usage of Flood Information Image) which illustrates how flood data can be used by various stakeholders like insurance companies, river management, and local governments. At the bottom, there is a timeline of the experiment from FY2024 to FY2026.

【新着情報】
2024年11月12日
〇浸水センサ表示システムを初めて公開します～リアルタイムに浸水が把握できる地域の試行～
<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>
〇浸水センサ表示システムは以下のWEBサイトでご確認いただけます
<https://c-sensor.river.go.jp/>

〇大雨による浸水被害が発生するなか、迅速な災害対応や地域への情報発信を行うため、堤防における越水や決壊などの状況や、堤防地域における浸水の状況を、速やかに把握することが求められています。
〇また、流域内で活動を行う様々な企業等においても、各々の店舗や事業施設の適切な管理、住居や車両の浸水被害への保険金支払い等の災害後の対応の迅速化などのため、浸水の状況を容易に把握する仕組みへのニーズが高まっています。
〇こうしたニーズに対応するためには、小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能なワンコイン浸水センサを製造、設置し、それらからの情報を収集する仕組みの構築が必要であり、そのための実証実験を実施中です。

(参考) 浸水情報の活用イメージ

■堤防の越水・決壊などの状況や、流域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集・共有する仕組みを構築

保険会社
河川管理
施設管理
作業員
浸水発生地域

〇令和6年度 実証実験の追加一覧
〇令和5年度 実証実験の追加一覧
〇令和4年度 実証実験の追加一覧

浸水センサ表示システム(一般公開)

<https://c-sensor.river.go.jp/>

The screenshot shows the C-Sensor system interface. It features a map of Japan with a red dot indicating the location of the experiment. A blue arrow points to a detailed view of a river area, showing the locations of the sensors (blue dots) and the flood occurrence area (red area). A legend on the right side of the detailed view explains the symbols: blue dot for 'Flood not detected', red dot for 'Flood detected', red car icon for 'Flood detected (Ambulance)', black dot for 'Update delay', green area for 'Sensor installation area', and red area for 'Flood occurrence area'. The interface also includes a '拡大表示' (Enlarge) button and a QR code for access.

インターネットで一般公開中

QRコードから↑アクセス

地図画面

拡大表示

凡例
● 浸水なし
● 浸水あり
● 浸水あり(アンダーパス)
● 更新遅延
● 異常検知
■ 浸水センサ設置地域
■ 浸水発生地域

令和7年度 国交省が用意する対象の9社のセンサ



光陽無線(株)／太陽誘電(株)



太平洋工業(株)



リプロ(株)



NTTインフラネット(株)



京セラコミュニケーションシステム(株)／マスプロ電工(株)／ゼロスペック(株)



ニタコンサル
タント
(株)／
(株)Skeed



応用地質
(株)



エヌエス
ティ・グロー
バリスト(株)

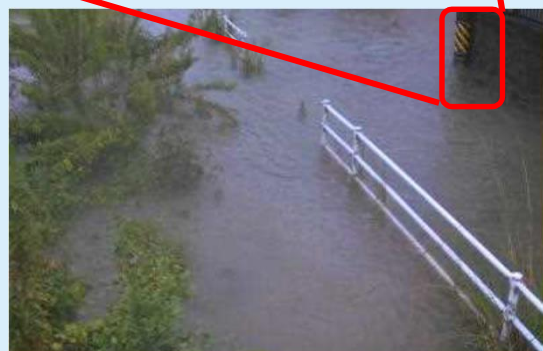


旭光電機
(株)

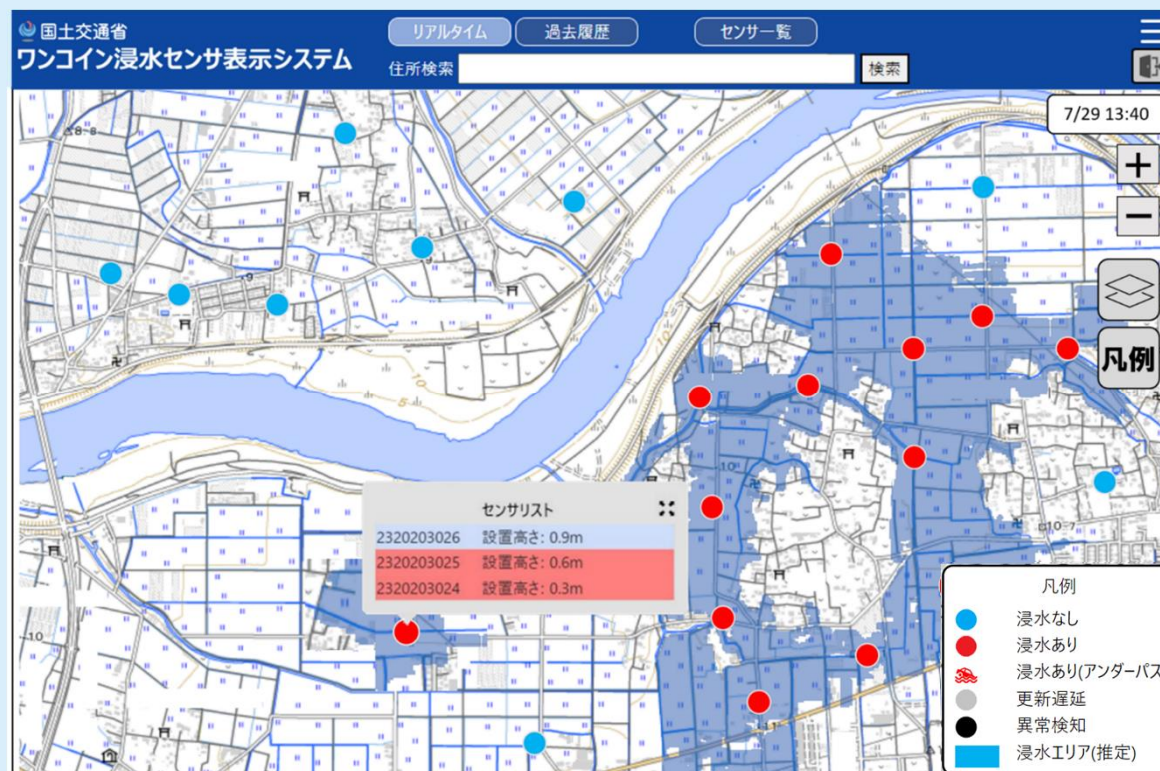
センサメーカー	通信方式	電池寿命	商用電源	機器構成
光陽無線(株)／太陽誘電(株)	Bluetooth → LTE	8年(センサ)	必要	浸水センサ 中継器 通信装置 データ収集サーバ
	LTE-M	7年(センサ)	不要	浸水センサ データ収集サーバ
太平洋工業(株)	特定小電力無線 → LTE	10年 (センサ)	必要	浸水センサ 通信装置 データ収集サーバ
リプロ(株)	LPWA (SigFox)	5年 (センサ)	不要	浸水センサ データ収集サーバ
NTTインフラネット(株)	LTE	5年 (通信装置)	不要	浸水センサ 通信装置 データ収集サーバ
京セラコミュニケーションシステム(株) ／マスプロ電工(株)／ゼロスペック(株)	Sigfox	5年 (センサ)	不要	浸水センサ データ収集サーバ
ニタコンサルタント(株)／(株)Skeed	小電力無線 → LTE	5年 (センサ)	必要	浸水センサ 通信部 中継器 通信装置 データ収集サーバ
応用地質(株)	LTE-M	5年 (通信装置)	不要	浸水センサ 通信装置 データ収集サーバ
エヌエスティ・グローバルIST(株)	LoRa無線 → LTE	3年 (センサ+子局通 信装置)	不要：観測点(センサ+ 通信装置) 必要：ゲートウェイ	浸水センサ 通信装置 ゲートウェイ データ収集サーバ
旭光電機(株)	LTE-M	3年 (センサ)	不要	浸水センサ データ収集サーバ

ワンコイン浸水センサ ～実証実験参加者向け 表示システム～

【浸水センサが浸水を検知する】 → 【ワンコイン浸水センサ表示システムに浸水状況が表示される】



浸水センサ設置箇所が浸水している状況



※浸水センサ表示システムの表示事例(イメージ)

浸水センサが浸水を検知した場合、表示システムに浸水センサの浸水情報が表示されます。実証実験参加者向けの表示システムではそれに加えて、周辺の地形から想定される浸水エリアがリアルタイムで表示されます。また、過去履歴から過去の浸水状況を確認することができます。

ワンコイン浸水センサ ～自動販売機搭載型のメリット～

独自センサの事例(中央大学研究開発機構・(一財)河川情報センター・大塚ウェルネスベンディング(株))

中部地方整備局



<メリット1>

浸水の有無が遠隔地のパソコンから**把握**できる

<メリット2>

電気代・センサ通信費・メンテナンス費用は自販機の収益からまかなうため、**自治体の負担はなし**

【条件】・営業エリアは全国

・10本程度／日の販売本数が見込まれる

(商品を入れ替える業者の管理する自販機が近いとハードルが下がる)

(借地料によってはハードルが上がる)

<メリット3>

有事には自販機在庫を**無償開放**

【条件】

・施設管理者に自動販売機のカギを貸与し、自治体の判断で飲料の無償配布が可能

【設置条件】

- ・土地所有者の設置許可が必要(使用料は設置者が負担)
(公有地で 浸水センサ搭載型自動販売機 の入札があれば対応可能な企業が応札)
- ・設置場所の決定から、通常**2週間程度**で**生産・設置**が可能
(電気の引き込み、センサの設置位置、事務手続きによっては追加の時間を要します)

ワンコイン浸水センサ ～自動販売機搭載型(設置場所)～

令和6年9月時点
(括弧書きは調整中)

桑名市

- ・ふれあいプラザ(1ヶ所1基)
- ・傳馬公園(1ヶ所1基)
- ・(長島遊館:1ヶ所1基)
- ・(追加設置調整中)



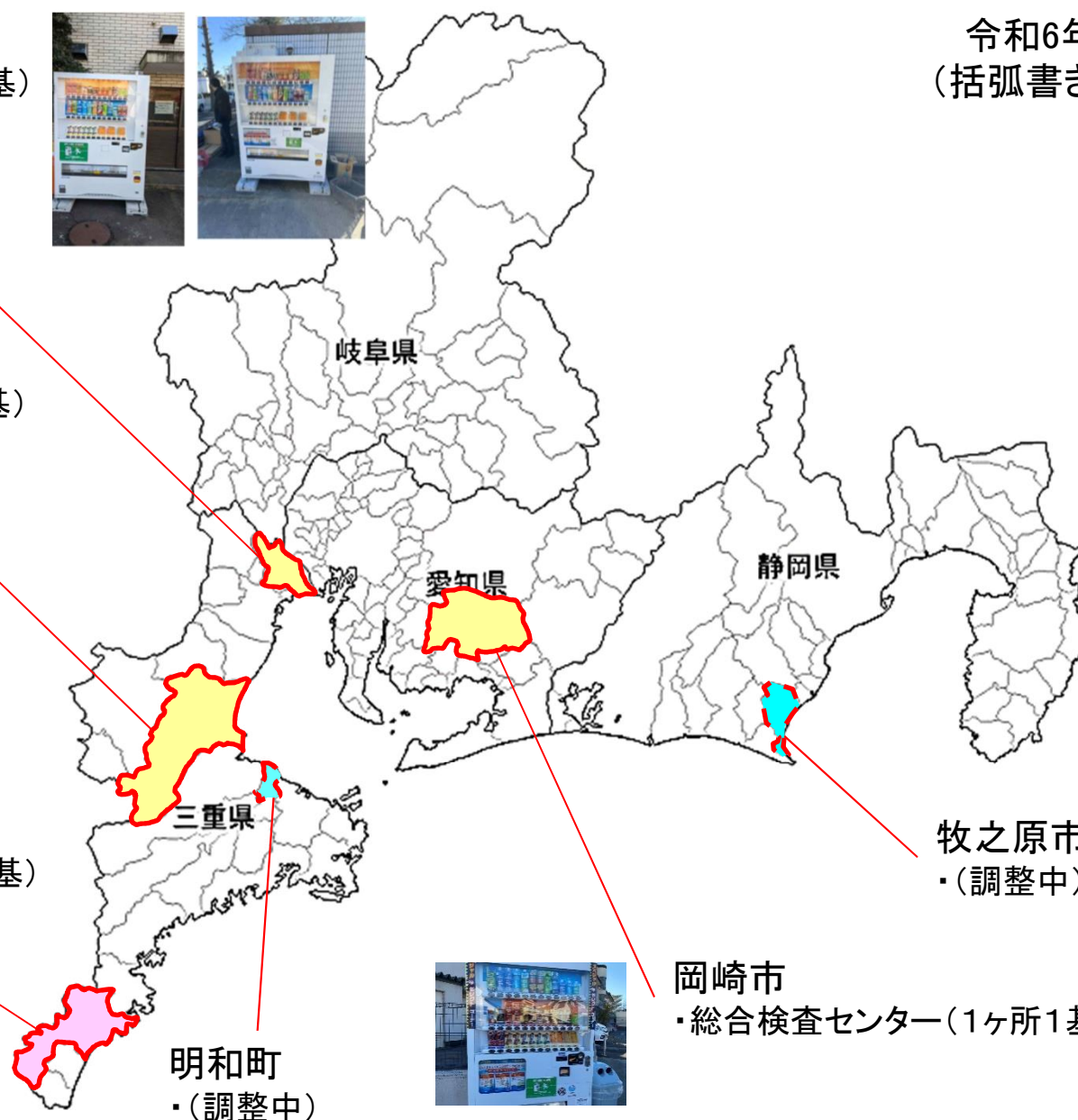
津市

- ・市役所(2ヶ所4基)
- ・一身田出張所(1ヶ所3基)



熊野市

- ・山崎運動公園(2ヶ所6基)
- ・文化交流センター(1ヶ所3基)



明和町
・(調整中)

岡崎市

- ・総合検査センター(1ヶ所1基)



牧之原市
・(調整中)

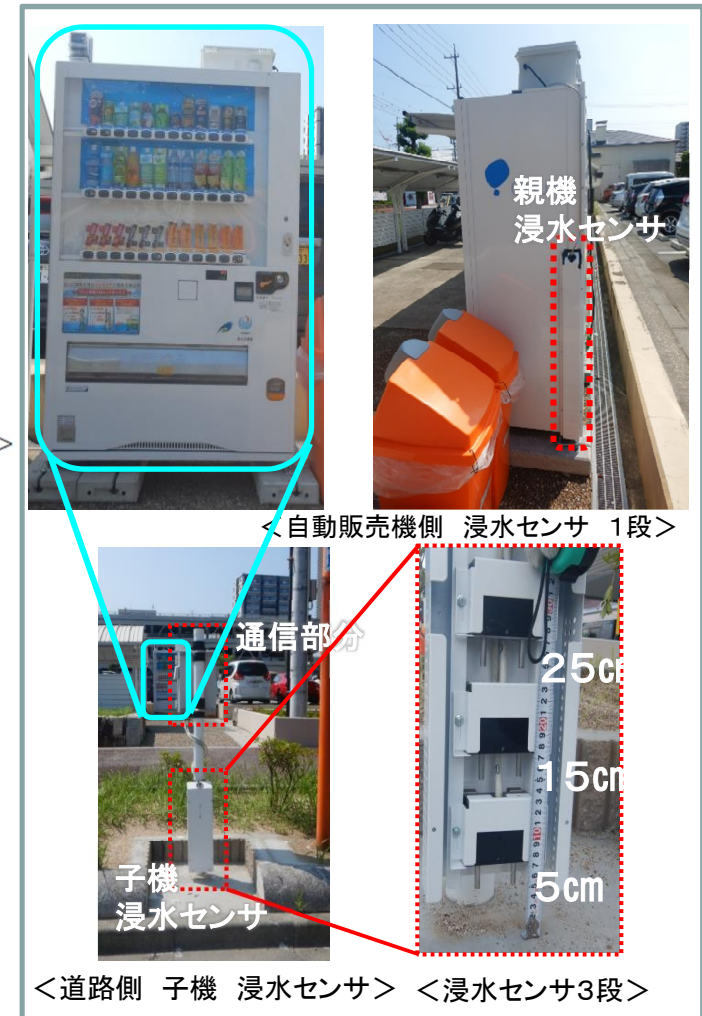
ワンコイン浸水センサ ～自動販売機搭載型(R5設置事例)～



＜自動販売機イメージ＞



＜位置図＞

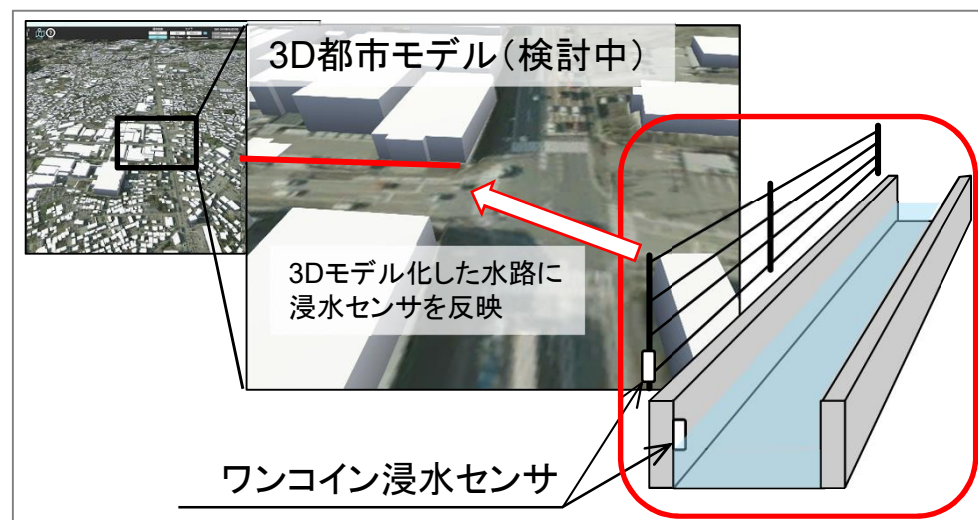


＜自動販売機側 浸水センサ 1段＞

＜道路側 子機 浸水センサ＞ ＜浸水センサ3段＞

センサ(子機)を浸水想定箇所に設置し、自動販売機(親機)を離れた場所へ設置可能

- 【条件】
- ・センサと自動販売機の距離は10mまで設置可能
 - ・自動販売機1台あたり、センサは3台まで設置可能



【導入の経緯】

現在、富士宮市では内水浸水想定区域図策定作業を進めているが、シミュレーション結果と実際の浸水実績に乖離がみられるため、現地測量にて水路等のデータを加味し精度を上げているところである。

しかし、現地測量は費用、日数も膨大なものとなるため苦慮している。また、浸水の過程については、どこからどの様に浸水するのか、シミュレーション結果から推測するしかなかった。

このような問題から、上記問題における浸水メカニズムの実績を把握するためのツールの1つとして、ワンコイン浸水センサの活用を検討した。

【利用目的】

現在市が把握している浸水想定箇所にワンコイン浸水センサを設置し、ワンコイン浸水センサにより得られたデータを、現在策定している内水浸水想定区域図へフィードバックすることで、シミュレーション結果がより実際の状況に近いものとなるよう、キャリブレーションを図っていきたい。

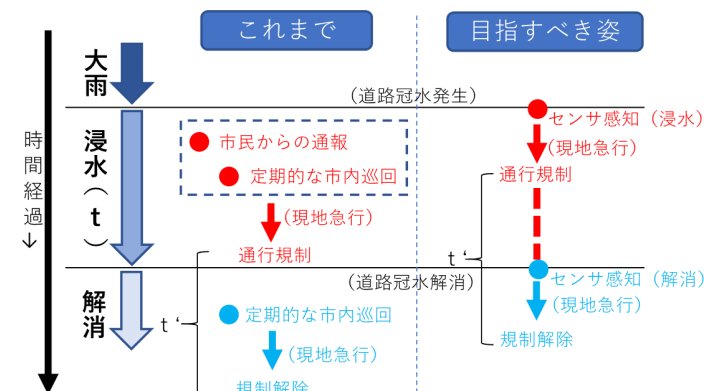
活用事例(三重県津市) ～浸水の検知情報を活用した実績～

【経緯・運用状況】

これまで市民からの通報や定期的な巡回によって浸水状況を把握し、通行規制等の対応を行っていたが、浸水センサを活用することでリアルタイムに浸水状況を把握し、迅速な防災対応へつなげることを目指している。

【活用実績】

令和6年台風10号において実際にセンサが浸水を検知し、その情報も活用しながら通行規制等の防災対応にあたった。



浸水センサの活用状況

津市久居明神町（津南警察署裏水路）

8月29日
 8:45 センサ感知（浸水）
 18:00 センサ感知（解消）
 ↓
 9:20 現地確認、通行規制
 翌0:15 現地確認、規制解除



ワンコイン浸水センサ表示システム (8月29日 14:00時点)



ワンコイン浸水センサ表示システム
 確認状況

ワンコイン浸水センサ実証実験 参加自治体

令和7年度は202の自治体の実証実験に参加します（令和7年3月14日時点）

No.	自治体名	企業・団体名（代表者） ※左記自治体内でセンサを設置する企業・団体等	No.	自治体名	企業・団体名（代表者） ※左記自治体内でセンサを設置する企業・団体等	No.	自治体名	企業・団体名（代表者） ※左記自治体内でセンサを設置する企業・団体等	No.	自治体名	企業・団体名（代表者） ※左記自治体内でセンサを設置する企業・団体等
1	北海道 函館市	TOPPANデジタル株式会社	51	茨城県 東海村		103	岐阜県 土岐市		150	鳥根県 出雲市	
2	北海道 千歳市		52	茨城県 境町	一般財団法人 日本気象協会	104	岐阜県 海津市		151	鳥根県 荏田市	
3	北海道 滝川市	合同会社サン技術研究所	53	栃木県 宇都宮市		105	岐阜県 笠松町		152	鳥根県 江津市	
4	北海道 釧路市	合同会社サン技術研究所	54	栃木県 野木町		106	岐阜県 安八町		153	鳥根県 川本町	
5	北海道 今金町		55	栃木県 那須町		107	静岡県 浜松市	浜名橋包輸送（株）	154	岡山県 岡山市	国立大学法人岡山大学・（株）ブロードライン
6	北海道 厚別町		56	群馬県 高崎市	太陽誘電（株）	108	静岡県 沼津市		155	岡山県 総社市	
7	北海道 美瑛町				坂戸・鶴ヶ島下水道組合	109	静岡県 三島市		156	岡山県 備前市	
8	北海道 厚真町		57	埼玉県 川越市	朝日航洋（株）共同	110	静岡県 富士宮市	（株）オリエンタルコンサルタンツ	157	広島県 廿日市市	
9	北海道 むかわ町				埼玉県 県土整備部 河川砂防課	111	静岡県 磐田市		158	山口県 山口市	
10	北海道 音更町	（株）北開水エコンサルタント （株）ズーシャ	58	埼玉県 熊谷市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	112	静岡県 牧之原市		159	山口県 田布施町	
11	北海道 新得町	（株）水エリサーチ・北海道大学・（株）ラビユー （株）ズーシャ	59	埼玉県 川口市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	113	静岡県 函南町				喜多機械産業（株）
12	北海道 白糠町	（株）横濱エンジニアリング	60	埼玉県 所沢市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	114	静岡県 川根本町		160	徳島県 徳島市	日産化学工業（株）
13	北海道 様方町		61	埼玉県 東松山市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	115	愛知県 豊橋市	損害保険ジャパン（株） 中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター	161	徳島県 鳴門市	日産化学工業（株）
14	青森県 むつ市		62	埼玉県 春日部市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課			あいおいニッセイ同和損害保険（株） セイコーインスツル（株）	162	徳島県 阿南市	日産化学工業（株）
15	青森県 鯉ヶ沢町	青森県県土整備部河川砂防課	63	埼玉県 羽生市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	116	愛知県 岡崎市		163	徳島県 吉野川市	
16	青森県 南部町	（株）日立製作所・青森県 三八地域振興局・青森 県 県土整備部 河川砂防課	64	埼玉県 上尾市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課				164	徳島県 美馬市	
17	岩手県 盛岡市	国立大学法人岩手大学	65	埼玉県 草加市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課				165	徳島県 石井町	
18	岩手県 紫波町	国立大学法人岩手大学	66	埼玉県 越谷市	東電タウプランニング（株） 埼玉県 県土整備部 河川砂防課	117	愛知県 豊川市	日本工営（株）	166	徳島県 美波町	喜多機械産業（株）
19	岩手県 矢巾町	国立大学法人岩手大学	67	埼玉県 蕨市		118	愛知県 豊田市		167	徳島県 海陽町	
20	宮城県 仙台市		68	埼玉県 戸田市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	119	愛知県 稲沢市		168	徳島県 東みよし町	
21	宮城県 大崎市	一般財団法人 日本気象協会	69	埼玉県 人間市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	120	愛知県 東海市	知多メディアネットワーク（株）	169	香川県 高松市	国立大学法人香川大学
22	宮城県 大河原町		70	埼玉県 朝霞市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	121	愛知県 清須市		170	香川県 丸亀市	国立大学法人香川大学
23	宮城県 大郷町	（株）ティディイー 宮城県 土木部 道路課	71	埼玉県 志木市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	122	愛知県 幸田町		171	香川県 三豊市	国立大学法人香川大学
24	秋田県 秋田市		72	埼玉県 和光市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課				172	愛媛県 松山市	
25	秋田県 能代市	（株）ティディイー	73	埼玉県 桶川市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	123	三重県 津市	AIG損害保険（株） 中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター	173	愛媛県 新居浜市	（株）ハートネットワーク
26	秋田県 大館市	（株）秋田ケーブルテレビ	74	埼玉県 鴻巣市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	124	三重県 四日市市	四日市港管理組合	174	愛媛県 大洲市	
27	秋田県 にかほ市		75	埼玉県 八潮市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	125	三重県 桑名市	中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター	175	高知県 高知市	ニッポン高度紙工業（株）
28	山形県 米沢市	（株）ソーア	76	埼玉県 富士見市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	126	三重県 鳥羽市	三重県 県土整備部 道路管理課	176	高知県 四万十市	中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター
29	山形県 鶴岡市	（株）ティディイー	77	埼玉県 三郷市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	127	三重県 熊野市	中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター	177	高知県 いの町	中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター
30	山形県 中山町	（株）ティディイー	78	埼玉県 坂戸市	一般財団法人 日本気象協会 埼玉県 県土整備部 河川砂防課	128	滋賀県 野洲市		178	高知県 日高村	中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター
31	山形県 高島町	（株）ティディイー	79	埼玉県 吉川市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	129	京都府 長岡京市		179	福岡県 大牟田市	三井住友海上火災保険・積水樹脂・大東建設・大和 ハウス（株）
32	山形県 川西町	（株）ティディイー	80	埼玉県 白岡市	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	130	京都府 南丹市		180	福岡県 久留米市	Kyuホールディングス・アルインコ（株）
33	山形県 庄内町	（株）ティディイー	81	埼玉県 伊奈町	日本航空電子工業（株） 埼玉県 県土整備部 河川砂防課	131	京都府 木津川市	亀岡電子（株）	181	福岡県 小郡市	（株）Kyuホールディングス
34	山形県 遊佐町	（株）ティディイー	82	埼玉県 滑川町	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	132	京都府 大山崎町		182	福岡県 太宰府市	
35	福島県 福島市	福島県 土木部 土木企画課	83	埼玉県 美里町		133	大阪府 堺市	大和ハウス工業（株）	183	福岡県 古賀市	
36	福島県 郡山市	福島県 土木部 土木企画課 大和ハウス工業（株）	84	埼玉県 松伏町	埼玉県 県土整備部 河川砂防課	134	兵庫県 姫路市	（株）西武リアルティソリューションズ	184	福岡県 うきは市	大和ハウス工業（株）
37	福島県 いわき市	日本工営（株）福島事務所 福島県 土木部 土木企画課	85	千葉県 野田市		135	兵庫県 豊岡市	（株）オーク	185	福岡県 筑前町	（株）Kyuホールディングス
38	福島県 白河市	福島県 土木部 土木企画課	86	千葉県 佐倉市	（株）広域高速ネット二九六	136	兵庫県 加古川市	中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター 東京海上日動火災保険（株）	186	福岡県 透田町	（株）Kyuホールディングス
39	福島県 喜多方市	福島県 土木部 土木企画課	87	千葉県 柏市	（株）建設技術研究所	137	兵庫県 西脇市		187	佐賀県 武雄市	
40	福島県 伊達市	太陽誘電（株） 福島県 土木部 土木企画課	88	千葉県 我孫子市		138	兵庫県 小野市		188	佐賀県 神埼市	（有）ジョイックス交通
41	福島県 本宮市	福島県 土木部 土木企画課	89	千葉県 香取市		139	兵庫県 三田市		189	熊本県 熊本市	
42	福島県 会津坂下町	福島県 土木部 土木企画課	90	千葉県 大網白根市	（株）広域高速ネット二九六	140	兵庫県 養父市	中央大学研究開発機構・大塚ウエルネスベンディ ン（株）・一般財団法人河川情報センター	190	熊本県 御船町	
43	福島県 小野町	太陽誘電（株） 太陽誘電（株）・福島県 土木部 土木企画課	91	千葉県 酒々井町		141	兵庫県 丹波市		191	熊本県 甲佐町	
44	茨城県 水戸市		92	東京都 世田谷区	（株）建設技術研究所・（株）Braveridge	142	兵庫県 南あわじ市	ワンコイン浸水センサ実証実験共同 喜多機械産業（株） 朝日航洋（株）共同	192	熊本県 埴原村	大和ハウス工業（株）
45	茨城県 土浦市		93	神奈川県 平塚市		143	兵庫県 朝来市		193	大分県 中津市	
46	茨城県 常総市		94	新潟県 阿賀町		144	兵庫県 加東市		194	大分県 日田市	
47	茨城県 常陸太田市		95	富山県 高岡市	高岡ケーブルネットワーク（株） （株）さるぼろアーム・三菱マテリアル（株）・ 耐水ケーブルネットワーク（株）	145	兵庫県 播磨町		195	宮崎県 宮崎市	
48	茨城県 高萩市		96	富山県 射水市		146	奈良県 川西町		196	宮崎県 都城市	
49	茨城県 取手市		97	石川県 金沢市		147	奈良県 大和町		197	宮崎県 延岡市	
50	茨城県 ひたちなか市		98	石川県 小松市		148	奈良県 宇陀市		198	宮崎県 国富町	
			99	長野県 須坂市		149	鳥取県 鳥取市	（株）オリエンタルコンサルタンツ	199	宮崎県 綾町	
			100	岐阜県 岐阜市					200	宮崎県 高鍋町	
			101	岐阜県 大垣市					201	宮崎県 木城町	
			102	岐阜県 恵那市					202	鹿児島県 鹿屋市	

※黒字は令和4年度から令和6年度の継続参加者 ※赤字は令和7年度の新規参加者

ワンコイン浸水センサ実証実験

ワンコイン浸水センサ実証実験について

- 現時点において29自治体751基のセンサを予定（全国：202自治体）
- 令和6年11月から一般公開を開始 ※公開非公開の設定は自治体判断
- 希望される自治体・企業については相談の上対応可能のため、本協議会後にお声がけください。

実施例等 参考HP

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001259.html

- 別途以下については随時受付しています。下記問い合わせ先に直接ご連絡下さい。
 - ・フィールド提供自治体としての登録
 - ・自費設置センサの表示システムへの掲載

問い合わせ先：水災害予報センター

E-mail：cbr-85onecoinsensor@gxb.mlit.go.jp

TEL:052-685-5117

河川監視カメラ～セキュリティ対策～

河川監視カメラ～セキュリティ対策～

過去には、適正に設定・管理されていない機器がウイルス感染していることが確認された事例もあるため、セキュリティ対策として以下の項目において対策が実施されていることを確認すること。

- カメラの設定変更用のログインID、パスワードを初期設定から変更したか
⇒ 変更後のパスワードは安全性の高いものとなっているか
※英大文字(26種類)小文字(26種類)＋数字(10種類)＋記号(26種類)の計88種類の文字をランダムに使った10桁以上のものが推奨されている
参考:NISCハンドブックP.32
<https://security-portal.nisc.go.jp/guidance/pdf/handbook/handbook-all.pdf>
- 遠隔制御システムは非公開となっているか
- 遠隔制御システムはアクセス制限(特定のIPアドレス)としているか

※ウイルス感染が確認された場合は機器の速やかな停止、本局への報告をお願いします。

水防協力団体制度について

水防協力団体制度について

●水防協力団体制度は、地域の水防力を強化するため、民間企業等が水防管理者（市町村等）や水防団等と連携して、平常時の水防啓発活動、災害時の巡視、土のう運搬等の後方支援等に協力できる制度（H17 制度化）

●水防管理者（市町村長等）が通年で募集、指定

（1）中部地整管内における指定の状況

- ・特定非営利活動法人天竜川ゆめ会議 長野県駒ヶ根市 H19 年12 月指定
- ・株式会社バローホールディングス 岐阜県多治見市 R6 年3 月指定
- ・株式会社三弘 木曽川右岸地帯水防事務組合（笠松町長） R6 年12 月指定

水防協力団体制度の概要

資料 - 1

水防協力団体制度の概要

- 水防協力団体制度は、地域の水防力を強化するため、民間企業等が、水防団等が行う水防活動と連携して、平常時の水防に関する普及啓発活動、災害時の巡視、土のう運搬等の後方支援などを行っていただくことができるように平成17年に制度化されました。
- 水防協力団体は、民間企業、NPO、自治会等が水防法に基づく申請を水防管理者（市町村等）に行い、水防管理者が指定することにより協力活動を行っていただきます。

水防に関する啓発等の協力



<ご協力内容>

- 水防に関する知識の普及、啓発、イメージアップ
- 水防に関する情報収集、提供

※写真は、イオン秋吉店様による水防に関する啓発のご協力に関するものです。

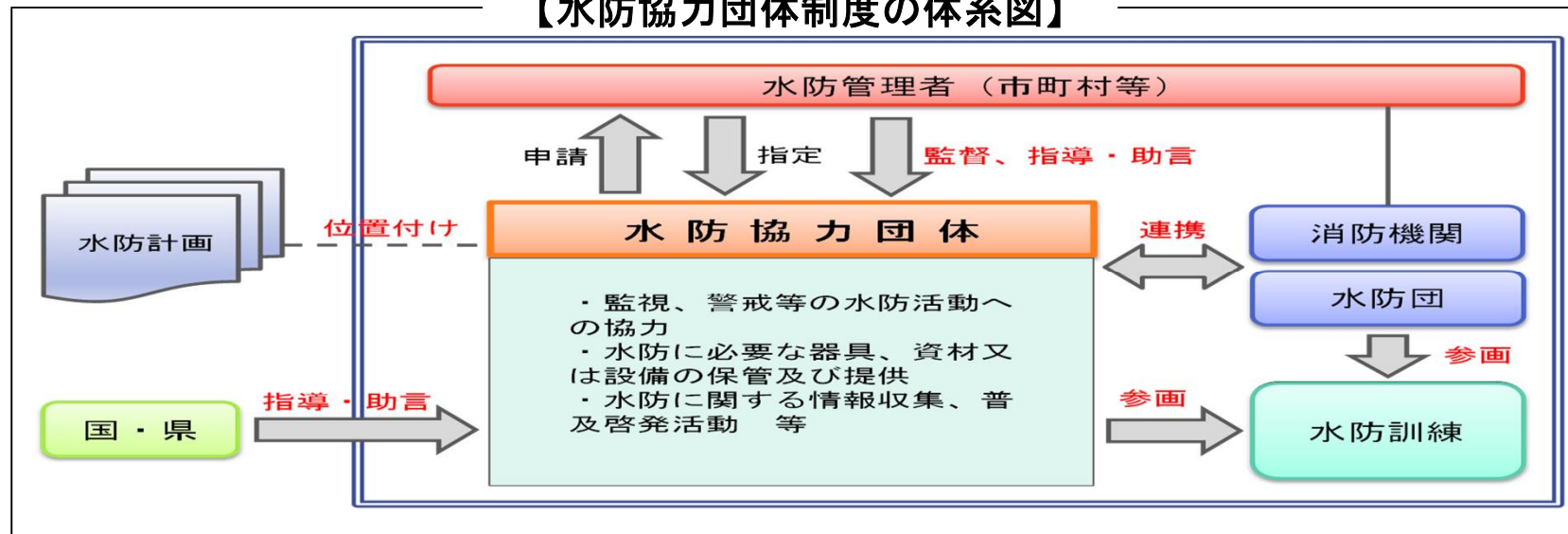
水防活動への協力



<ご協力内容>

- 水防に必要な資機材の保管、提供
- 水防上必要な監視、警戒

【水防協力団体制度の体系図】



【取り組み状況】

- 平成19年12月 特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議 様が長野県駒ヶ根市から水防協力団体の指定
- 令和5度から、水防協力団体の拡充の取り組みを開始。
- 令和6年3月21日、株式会社バローホールディングス 様へ岐阜県多治見市から水防協力団体の指定がなされました。
その際、庄内川河川事務所長が立会い、水防協力団体認定書交付式を開催しました。
- 令和6年度においては、株式会社三弘 様が、木曽川右岸地帯水防事務組合へ水防協力団体の指定申請を行い、
木曽川右岸水防事務組合が株式会社三弘 様を水防協力団体として指定をされることになりました。

水防協力団体認定書交付式（（株）バローホールディングス）について



水防協力団体
（株）バローホールディングス
常務取締役

多治見市長

庄内川河川事務所長

＜（株）バローホールディングス様のご協力内容（指定時）＞

- （株）バローホールディングス様のご協力をなされるエリア
 - ・ 多治見市内のバロー（スーパーマーケット）4店舗
- （株）バローホールディングス様のご協力をなされること
 - ・ 平時における店舗への水防に関するポスターやパンフレットの提示
 - ・ 災害時における水防活動中の団員への物資の供給
 - ・ 災害時における施設等の使用

多治見市役所で開催された水防協力団体認定書交付式
（令和6年3月21日）

水防協力団体認定書交付式(株式会社 三弘)

概要：

木曽川右岸地帯水防事務組合が（株）三弘に水防協力団体認定書を交付しました。**木曽川右岸地帯水防事務組合管理者（笠松町長）の挨拶では“水防協力団体による一層の支援に期待”が述べられ、株式会社 三弘 代表取締役の挨拶では“地域の防災に貢献していきたい”と述べられました。**

式典は、木曽川上流河川事務所長が、立会いの上、執り行われました。

日時：

令和6年12月9日（月）14時00分～14時20分

出席者：

木曽川右岸地帯水防事務組合 管理者（笠松町長）、副管理者（笠松町副町長）

株式会社 三弘 代表取締役 等

木曽川上流河川事務所長

株式会社 三弘が活動が水防協力団体として活動される内容：

土のう袋の提供、水防団に関する広報資料の掲示

取材：中日新聞の取材がありました。



左から 木曽川上流河川事務所長、笠松町副町長、笠松町長、
（株）三弘 代表取締役、（株）三弘 係長



左から 笠松町、（株）三弘 代表取締役